

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会医療法人松涛会	代表者	斎藤 妙子	法人・事業所の 特徴	「地域の中で生き生きとその人らしくゆったりと、楽しく自由にありのままに」を理念に利用者様の気持ちに向き合い、寄り添いながら支援すること大切にしています。また地域に密着したサービスの向上を心掛けています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 くるみの家	管理者	濱田 英記		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	1人	人	1人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	担当職員を中心に利用者一人一人のケアを考えながら実行し、「楽しく暮らせる施設」を目指す。	ミーティングなどの場で、職員全体で話し合いを行いながら、利用者の支援に取り組むことは出来ていた。	事業所として自己評価への取り組みもしっかりと出来ており、改善計画に対しても具体的な取り組みが出来ていることがわかる。	担当職員とケアマネを中心に利用者の個性に合ったケアが行えるよう支援していく事で「住みやすい施設」を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染予防対策の継続を行いながら、清潔感のある環境整備と来所者が気軽に声を掛けやすい雰囲気作りや飾りつけを行っていきたい。	今年度は、利用者のコロナウィルス陽性者はゼロであり。感染予防対策は出来ていると思われる。行事の写真を玄関や各階に掲示する事で施設の日頃の雰囲気を感じてもらうことができたと思う。	感染対策も職員全員に周知されていると感じます。玄関の入口は外からも見えやすく入りやすいが、防犯や利用者の安全面から施錠についてそう対応されているか知りたい。	生産性向上の観点から 5S活動に力を入れ、整理整頓・清潔など職員が働きやすい、利用者が住みやすい環境整備に取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	地域のイベントに積極的に参加しつつ、また施設内行事への地域の方の参加を呼び掛けることで、地域との関わりを強化していく。	地域の「夏祭り」参加や「お神輿」の来所など利用者・職員が地域住民との関わりを深めることは出来てきていると思う。	地域の行事やイベントには参加できているが、地域住民が参加しやすいような発信ができると尚良いと思う。	利用者が地域のイベントに積極的に参加しつつ、施設内行事への地域の方の参加を呼び掛けることで、地域と施設の関わりを強化していきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	個別支援の更なる充実を図りながら、「施設見学ツアー」の開催により施設の認知度を高めていく。	今年度は、事業所として2回目の「施設見学ツアー」を企画したが、来所はゼロであった為、来年度以降、企画内容や周知方法の見直しを行い、広く施設を認知してもらえよう努めたい。	地域の行事やイベントにはできるだけ色々な利用者に参加してほしい。また、地域の方の相談窓口になれる施設であってほしいと思う。	個別支援の更なる充実を図りながら、「施設見学ツアー」の開催を継続し安岡地区に限らず幅広く施設の周知に向けて尽力していきたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	会議の中で得た貴重な情報を活かすことで、地域との関係性を深める場にしたい。	運営推進会議の場で施設運営に関する一般的な情報交換は出来ているが、具体的な事例を検討検討をするまでには至らなかった。	運営推進会議で事業所の利用者の事例紹介を行ってほしい。また、地域と共同で何かイベントなどの取り組みができると良いと思う。	施設に入所されている利用者の事例紹介を定期的で開催し、地域と施設の関係性をより深めていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練への参加やBCP（災害時の業務継続計画）の研修を行うことで、緊急時の体制作りに努めたい。	BCP（災害時の業務継続計画）の研修を行う事で、避難場所の確認や避難誘導の方法など職員が慌てず対応できるよう訓練が出来ている。	防災、災害対策として事業所を含む地域全体で話し合いや訓練ができると良いと思う。	地域の防災訓練への参加やBCP（災害時の業務継続計画）の研修を行うことで、緊急時の体制作りに努めたい。